

海岸に乗り上がったクジラは どうなるの？

クジラに関わる仕事

地球環境を守る仕事

データサイエンティストの仕事



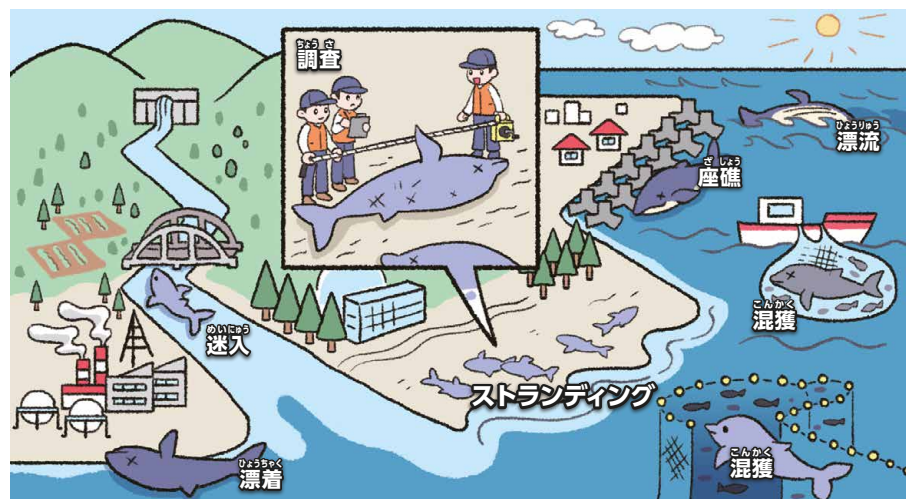
一般財団法人
日本鯨類研究所
https://www.icrwhale.org/



海で生活する鯨類が生きて乗り上げることを「座礁」、死んで打ち上げられることを「漂着」といい、一般に「ストランディング」といいます。どんなことなのか、日本鯨類研究所に教えてもらったよ。

A

ストランディングしたクジラやイルカは、大切な調査研究材料を与えてくれます。これらを調べれば、さまざまなことがわかるよ。



鯨類は砂浜などに漂着したり、河川に迷い込んだり(迷入)、漁業で設置した漁具に絡んだりすること(混獲)がしばしばあります。生きたままもあれば、死体のことも。日本鯨類研究所では、日本各地からストランディング情報が寄せられると、現地に研究者を派遣し、鯨体の調査やデータ収集などの活動を行っています。

鯨類のストランディング比較例

(日本鯨類研究所ストランディングレコードデータ(2011~15年)からの集計)

鯨類の座礁は、世界中のどこかの沿岸で日常的に起きています。国内で発見されたストランディングの例を日本鯨類研究所の5年間の集計データから見えてみましょう。



少なかつた例

日本周辺の海で生活している鯨類は約40種類。ストランディングが少ないのはこちらです(5年間でそれぞれ1頭だけ発見)。



▲ストランディングしたザトウクジラの調査の様子

大型のクジラは、現場に駆けつけて調査する！

大型のクジラがストランディングすると、現場ですぐの生物調査を行います。どんな種類か、年齢、性別など、多くのデータを集めます。データを積み重ねることで、そのクジラの生態がわかります。ストランディングしたクジラは貴重な研究サンプルなのです。

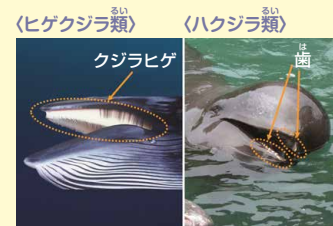
ストランディングの情報からクジラの暮らしがわかるよ！

何を？

生物調査はどんなことを？

①クジラの種類を調べる！

クジラの仲間は大きく分けると「ヒゲクジラ」と「ハクジラ」に分かれます。姿や形、皮膚の特徴などから種類を調べます。



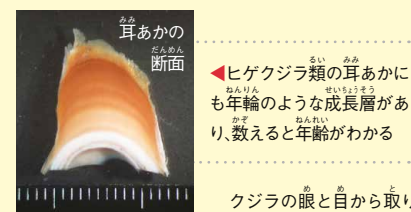
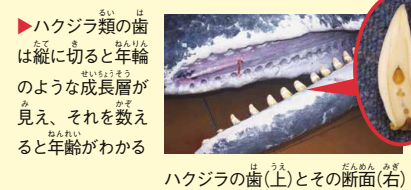
腐敗していてもDNAでわかる！



▲皮膚サンプル(左)と、取り出したDNAサンプル(右)

②クジラの年齢を調べる！

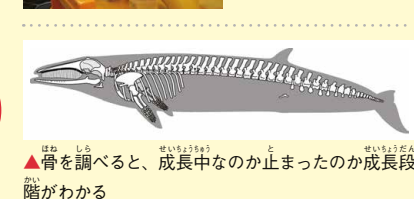
クジラの年齢は、歯、耳あか、目の水晶体などを調べるとわかります。



▲クジラの歯(上)とその断面(右)
▲ヒゲクジラ類の耳あかにも年輪のような成長層があり、数えると年齢がわかる
▲クジラの目から取り出された水晶体の成分を化学分析すると年齢がわかる

③体長、体重、性別、健康や栄養状態も調べる！

さまざまな道具を使って、調べられることは何でも調べます。



▲骨を調べると、成長中なのか止まったのか成長段階がわかる

ぼくのおかげ？



「くじら学校」と呼ばれる小学校がある！

「寄り鯨」とも呼ばれる鯨は恵みをもたらす存在でもあります。新潟県の下浜小学校は「くじら学校」という呼び名も。明治時代末期、倒壊して閉校の危機に落ちた時、学校の近くにクジラが打ち上げられ、そのクジラの肉を売って学校の建築資金にあてました。今でも児童たちはクジラや海についての学習をしています。



▲新潟県上越市立上下浜小学校

生物調査は、海の生き物たちを守る ことにもつながる大事な仕事です！

答えてくれた人 一般財団法人 日本鯨類研究所 第二調査研究部門 調査センター主任研究員 茂越敏弘さん

海って、どんなところだと思いますか。広い海にはとっても大きな生き物、クジラがすんでいます。みなさんはクジラを近くで見たことがありますか？ 海岸に打ち上げられたクジラを調べることは、まるで特別な探検のようです。クジラは普段なかなか会うことができませんが、打ち上げられて陸に現れると、体のつくりや生き方のヒミツを調べるチャンスが生まれます。骨や筋肉を調べると、どんなふうに泳いでいたのか、どんな毎日を過ごしていたのかがわかってきます。さらに、クジラを通して海の健康状態を知る手がかりにもなります。このような調査の積み重ねでクジラに関する大切な情報が集まり、それが海の秘密を解き明かす一歩になります。生物調査は海の生き物たちを守ることにともなう大事な仕事です。



クジラを調べると海のいろんなことがわかります。